



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名  
 コード番号 9664 URL http://www.misonoza.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮崎敏明  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務経理部長 (氏名)増井敏樹 (TEL) (052) 222-8202  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4	108.7	△79	-	△79	-	△79	-
29年3月期第2四半期	2	△99.9	△62	-	△60	-	△61	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△1.61	-
29年3月期第2四半期	△1.25	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,992	4,507	90.3
29年3月期	4,642	4,287	92.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,507百万円 29年3月期 4,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	--	--	--	0 00	0 00
30年3月期	--	--			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	437	△15.1	△286	-	△227	-	△228	-	△4.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	49,845,000株	29年3月期	49,243,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	48,364株	29年3月期	46,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	49,539,936株	29年3月期2Q	49,198,395株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における事業環境の状況は、企業収益や雇用環境の改善を背景に全体としては緩やかな回復基調となりました。

しかしながら、個人消費については、景気先行きの不透明感が払拭されず、盛り上がり欠ける状況で推移しました。

レジャー業界においては旅行業界が徐々に回復が進んでおりますが、旅行業界と比較すると興行業界は未だ回復が進んでおらず依然厳しい状況となっております。

そのような中、当社は恒例となりました10月「錦秋名古屋顔見世」の営業活動に加え、広報活動として広小路・大津通り等へのバナー広告の設置ならびにまねき上げ行事等を実施し、公演開幕に向けたアピール活動を行いました。又、中日劇場への各公演の販売協力を行いました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、29億2千5百万円となり、前事業年度末に比べ3億4千5百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が3億2千万円増加したことによるものであります。固定資産の残高は、20億6千6百万円となり、前事業年度末に比べ4百万円の増加となりました。この主な要因は、無形固定資産が3百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は、49億9千2百万円となり、前事業年度末に比べ3億4千9百万円の増加となりました。

#### (負債の部)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、1億8千5百万円となり、前事業年度末に比べ1億2千9百万円の増加となりました。この主な要因は、前受金が1億4千4百万円増加したことによるものであります。固定負債の残高は、2億9千9百万円となり、前事業年度末に比べ0百万円の増加となりました。この結果、負債合計は、4億8千4百万円となり、前事業年度末に比べ1億2千9百万円の増加となりました。

#### (純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、45億7百万円となり、前事業年度末に比べ2億2千万円の増加となりました。この主な要因は、資本金が1億5千万円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,556,359	2,876,974
受取手形及び売掛金	3,643	1,097
貯蔵品	620	648
その他	21,358	47,926
貸倒引当金	△1,477	△1,097
流動資産合計	2,580,505	2,925,550
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	309	271
土地	2,010,112	2,010,112
有形固定資産合計	2,010,421	2,010,383
無形固定資産	83	3,859
投資その他の資産		
投資有価証券	42,068	42,808
その他	9,520	9,839
投資その他の資産合計	51,589	52,648
固定資産合計	2,062,094	2,066,891
資産合計	4,642,600	4,992,441

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	27	-
未払法人税等	9,619	9,197
前受金	17,460	161,678
預り金	2,373	1,974
その他	26,604	12,609
流動負債合計	56,084	185,460
固定負債		
繰延税金負債	275,821	275,877
退職給付引当金	23,211	23,367
固定負債合計	299,032	299,244
負債合計	355,116	484,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,121,437	2,271,937
資本剰余金	1,987,121	2,137,621
利益剰余金	205,119	125,201
自己株式	△36,444	△37,956
株主資本合計	4,277,234	4,496,804
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,248	10,931
評価・換算差額等合計	10,248	10,931
純資産合計	4,287,483	4,507,736
負債純資産合計	4,642,600	4,992,441

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,033	4,242
売上原価	8,819	10,407
売上総損失(△)	△6,785	△6,164
販売費及び一般管理費	55,456	73,206
営業損失(△)	△62,242	△79,371
営業外収益		
受取利息	320	118
受取配当金	1,105	1,105
受取手数料	-	1,100
その他	181	60
営業外収益合計	1,607	2,383
営業外費用		
支払利息	3	-
株式交付費	-	2,379
その他	1	73
営業外費用合計	5	2,452
経常損失(△)	△60,639	△79,440
特別損失		
投資有価証券評価損	48	-
特別損失合計	48	-
税引前四半期純損失(△)	△60,688	△79,440
法人税、住民税及び事業税	1,116	478
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	1,116	478
四半期純損失(△)	△61,804	△79,918

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△60,688	△79,440
減価償却費	416	55
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△180	△380
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△10,823	-
退職給付引当金の増減額(△は減少)	153	156
受取利息及び受取配当金	△1,425	△1,223
支払利息	3	-
投資有価証券評価損	48	-
売上債権の増減額(△は増加)	610	2,546
たな卸資産の増減額(△は増加)	△84	△28
仕入債務の増減額(△は減少)	△54	△27
未払又は未収消費税等の増減額	△12,878	△5,370
前受金の増減額(△は減少)	134,232	144,218
株式交付費	-	2,379
その他	△2,125	△12,928
小計	47,205	49,957
利息及び配当金の受取額	1,672	1,224
利息の支払額	△3	-
法人税等の支払額	△3,863	△241
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,011	50,940
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金等の預入による支出	△85	△86
有形固定資産の取得による支出	-	△23,322
無形固定資産の取得による支出	-	△3,780
その他	△331	△331
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417	△27,520
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	-	298,620
リース債務の返済による支出	△426	-
その他	△142	△1,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	△569	297,108
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	44,025	320,528
現金及び現金同等物の期首残高	181,102	199,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	225,127	519,612



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月20日付で、株式会社宮崎など法人8社、個人13名から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期累計期間において資本金が150百万円、資本準備金が150百万円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が2,271百万円、資本準備金が2,137百万円となっております。